第20号　平成26年９月１日発行

2014
6月定例会
NO.20

まつえ
MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会だより

グリーンステラ（年間を通じて牡丹の花が温室内で咲いています）

中村元（はじめ）記念館

江島大橋（CMで話題になったベタ踏み坂）

雲州人参の里

平成の松江風土記⑤

肥沃な土地にめぐまれた八束町

もともとは玄武岩からなる火山島である。出雲風土記では、大根島は「たこ島」、江島は「むかで島」と呼ばれ、肥沃な土地に恵まれ、大根島では薬用人参、江島では桑や麻が生産されていた。戦国時代から「大根島」と呼ばれる。現在は、中村元記念館や「ベタ踏み坂」と呼ばれる江島大橋もにぎわっている。

特集 7～8ページ
松江市自転車安全利用条例を制定

発行・松江市議会
編集・議会広報等特別委員会

6月定例会

平成26年6月11日～27日

一般会計補正額1億2,201万円 今年度総額1,006億円

6月定例会では、平成26年度一般会計補正予算等予算案件2件、条例案件9件、承認案件12件や松江市教育委員任命の同意案件などを審議し、すべて原案可決、承認、同意しました。

補正予算額は、一般会計1億2,201万円、公営企業会計（水道事業）25万円でした。補正予算には、災害復旧事業費や多古鼻公園施設と加賀宿泊施設の当面の施設管理運営費などが含まれています。その結果、補正後の一般会計総額は、1,006億円（前年同期比3.2%増）となりました。

一般質問では、17名の議員が、少子化と人口減少社会における課題、介護保険制度改正への対応、広域避難計画の課題など、市政全般にわたり論戦を展開し市長および執行部の考えを質しました。

また、政策条例研究会で取り組んできた「松江市自転車安全利用条例」の制定について議員提案があり、全会一致で可決しました。（特集7ページから）

補正額の主なもの

公共土木施設災害復旧事業費　7,560万円

社会保障・税番号制度システム改修事業費　1,870万円

多古鼻公園施設と加賀宿泊施設の指定管理取り消しに伴う当面の施設管理運営費　2,515万円

条例案の主なもの

松江市火災予防条例の一部改正

松江市福祉医療費助成条例の一部改正

松江市ふるさと水源の森基金条例の制定

松江市下水道使用料条例の一部改正

委員会・議員提出議案等

件名		結果
委員会提出議案第2号	松江市議会委員会条例の一部改正について	原案可決（全員）
議員提出議案第2号	松江市自転車安全利用条例の制定について	原案可決（全員）
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦に関する意見の通知について	可　決（全員）

請願の審議結果等

件名		提出者	結果
請願第4号	集団的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを求める意見書の提出について	憲法を活かす会 代表　古川　忠光	閉会中の継続審査

市政のここが聞きたい　17人の議員が質問

6月定例会　一般質問

6月定例会では、6月16日から6月18日までの3日間にわたり一般質問を行いました。
質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

会派代表質問

松蔭（まつかげ）　嘉夫（よしお）　（松政クラブ）

- 人口減少社会における定住対策について
- 介護保険事業について
- **身体障がい者問題について**
- 松江市の土地利用制度について

質問　身体障がい者差別禁止条例の制定は

本年５月に松江市で日本身体障がい者福祉大会が開催され、大会宣言で地方自治体において「障がい者差別禁止条例の制定」を要請することが採択された。松江市の障がい者の差別禁止条例制定について市長の考えを伺う。

回答　来年度の制定を考えている

障がい者の差別禁止条例については、来年度策定を考えているが、第２次の松江市障がい者基本計画のなかで検討していきたい。条例は何が差別に当たるかという物差しを明らかにすること、いろいろな紛争を解決する簡易で迅速な仕組みづくり、市民への啓発等を中身として考えているが、関係者の方々の意見も伺っていきたいと思っている。

会派代表質問

立脇（たてわき）　通也（みちや）　（松政クラブ）

- **これからのまちづくりについて**
- 里山資本主義から考える
- 地方中枢拠点都市について

質問　これからのまちづくりについて伺う

地域資源の原点としてのまちづくりは、製品や都市としてのブランド化である。松江には菓子、茶、水産品、歴史、伝統文化など本物のポテンシャルの高いものが数々ある。将来に向け誇りをもって共有する本物が必要である。市長は外部から人材を入れられるが、職員のモチベーションは上がらない。まちづくりについて、中村市長は文化、宮岡市長は交流人口の増とモチベーションアップ、井戸内先輩は人であると言われた。市長はいかにお考えか。

回答　松江ブランドの創出に努めたい

競争力に優れた産品、製品を選び、関係機関が一体となった取り組みを行い、松江ブランドの創出に努めたい。職員については、目的意識を明確にするため組織目標を掲げ共有し、仕事に対する意欲、モチベーションを高めていく工夫もしていきたい。

会派代表質問

川島（かわしま）　光雅（みつまさ）　（真政クラブ）

- **少子化と人口減少社会の課題について**
- 教育行政について
- 島根原発２号機の再稼働是非の判断について
- 職員の労働安全教育について
- ＰＭ2.5の公表について

質問　線引き制度への取り組み手順は

人口減少社会の中、コンパクトシティ化の方向の都市が多くある。都市開発は商工業間の配置や雇用拡大と維持、インフラ整備、農地活用と農業振興、観光振興、地価、都市計画税など多方面から分析、慎重に対処すべきである。都市計画審議会専門小委員会では、多くの委員が線引き制度を維持した上で規制を緩和する考えを示している。現制度以上とはどのような緩和か、今後の手順はどうか。

回答　現行の緩和措置以上の緩和実現の議論と８月ごろに一定の方向性をだす

小委員会では現在の市街化調整区域の制度の中で緩和措置での対応ができるか意見を伺っている。建築建物の用途の一定の緩和、地域拠点における空き家を活用する現行緩和措置以上の緩和の実現性の議論をしていただいている。方向性は８月頃の予定。

会派代表質問

川井（かわい）　弘光（ひろみつ）　（市民クラブ）

- 介護保険制度改正への対応
- **地域福祉活動や民生児童委員制度の維持・充実**
- 木質バイオマスエネルギーの利用拡大

質問　民生児童委員の担い手確保にむけ環境改善と負担軽減を

地域福祉を担う後継者、とりわけ民生児童委員の担い手不足が表面化しつつあると懸念しているが、現状認識と今後の対応について市長の見解を問う。

回答　県市長会を通じて「定数確保」と「財政措置」を要望する

民生児童委員については、各地区での人選、推薦作業で大変なご苦労があるものと思う。市としても「担い手不足が表面化している」と認識している。業務が多様化・複雑化しており、関係者が綿密に連携して負担軽減を図る必要がある。県に対しては、県市長会を通じて「地域の実情を把握できる市町村が必要と認めた定数への増員」と「活動経費についての充分な財政措置」を要望する。

※会議録は松江市議会ホームページ（http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html）でご覧いただくことができます。

会派代表質問

田中　明子（たなか　あきこ）（公明クラブ）

・人口減少問題
・地方中枢拠点都市と定住自立圏
・地方包括ケアシステム
・認知症対策
・教育委員会制度改革
・ブックスタート事業

質問　超高齢化社会における地域医療の考えは

医療政策懇話会が創設されたが、地域包括ケアシステム構築に向けてどのような地域医療の在り方をお考えか。

回答　松江に合った在宅医療の環境整備を行う

医療は、地域包括ケアを構成する一つの要素で、介護・福祉との結節点が在宅医療である。この在宅医療の提供体制を整えていくことが地域包括ケアを構築する上で非常に重要なポイントになる。したがって医療政策懇話会の意見交換テーマとして取り上げていきたい。必要な人が必要な時に医療サービスを受けることが出来る松江市を目指す。

会派代表質問

吉儀　敬子（よしぎ　けいこ）（共産党議員団）

・集団的自衛権行使容認に反対を
・政治介入許さない教育委員会制度に
・学力テスト結果公表前に現場調査を
・原発問題
・医療・介護総合法案の問題点
・子ども・子育て支援法に基づく施策
・線引き制度について
・「拠点連携型まちづくり」の見通し

質問　集団的自衛権行使容認に反対を

集団的自衛権とは、日本が攻撃されていないのにアメリカと一緒に戦争することであり、歴代の自民党政権は集団的自衛権の行使はできないとしていた見解を、閣議決定で覆そうとしている。戦後、自衛隊は憲法のおかげで、誰一人殺し殺されることがなかった。憲法を守る立場の首長として、安倍首相に集団的自衛権行使容認は反対であると表明すべき。

回答　外交・防衛は国の役割であり、国で論議を尽くしていただきたい

外交・防衛は国が役割を果たすべきものであり、内政に関しては地方自治体が担うべき。集団的自衛権行使は、国の役割として責任を全うすべき課題であり、国においてしっかり議論を尽くしていただきたい。

新井　昌禎（にい　まさただ）（友愛クラブ）

・人口急減社会における地域社会の持続性について
・災害に強いまちづくりについて
・スポーツ振興を通じた地域の活性化について

質問　小中学生を対象とした防災教育の必要性について

現在、松江市においては、自治会単位での自主防災の取り組みが行われているが、さらに充実させる視点で、小中学生を対象とした防災教育の必要性について伺う。

回答　学校、家庭、地域が一体となった防災教育を検討

市内各地域に自主防災組織づくりを進めてきているが、子供達に対しては、小中学校では、総合的な時間、特別活動や学校行事などの機会を捉え、災害に対して的確な判断のもと自ら行動できる力を育むよう指導をしている。今後も、学校、家庭、地域が一体となった避難訓練の実施など、連携を大切にした防災教育を検討していきたいと考えている。

野々内　誠（ののうち　まこと）（松政クラブ）

・松江市の行政診断結果の概要から
・産業支援制度の充実について
・人口減の見込みへの対策について
・錦織圭選手に名誉市民などの顕彰を

質問　本市の行政診断結果の概要から、将来の行政執行を見込み、職員体制を問う

行政診断結果で多いとされる職員の総数としてだけではなく、年齢や職種毎の分析が必要ではないか。将来の行政執行を見込み、定員管理の展開と職員の任用、雇用の充実に、どう課題の解決にあたっていくか伺う。

回答　将来的な人事管理に向けて是正を図る

これまでの採用の抑制により、若年層の割合が減少し、職員の年齢構成にアンバランスが生じており、将来的な人事管理に向けて是正を図る必要があると認識している。定員管理の展開と職員の任用、雇用の充実においては、職員の年齢構成の是正、人材育成の強化、女性職員の積極的活用などを図り、市民の皆様から信頼される職員の育成を図っていきたいと考えている。

※会議録は松江市議会ホームページ（http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html）でご覧いただくことができます。

柳原　治（やなぎはら おさむ）　（松政クラブ）

・国土強靭化基本法について
・新たな農業・農村政策４つの改革について
・政府の規制改革会議が提案した農業改革案について
・松江北道路の計画について
・一般廃棄物の溶融固形物の再利用について

質問　農業改革案は地域経済の崩壊につながりかねない

農協中央会制度の廃止、全農の株式会社化、準組合員の事業利用制限は地域経済の崩壊につながりかねない。地元ＪＡは信用・共済事業で得たものを農家組合員の営農指導にと、地域の農業振興を松江市行政とともに考え進んできたと思うが。

回答　地域農業の実情などにも配慮が必要

地域に身近な単位農協については、今後、農業経営指導の強化であるとか、地域農業の振興、販路の拡大に重点的に取り組むことが必要であると考えている。農協中央会、全農のあり方等々の、農業協同組合全般にわたる見直しについては、地域農業の実情などにも配慮して、農業者あるいは農業団体などの関係者の意見を踏まえて結論を出していただきたいと思う。

貴谷　麻以（きたに まい）　（真政クラブ）

・典子様ご婚約など今秋に向けての観光政策の見通しは
・美しい都市松江の景観形成について
・島根や松江の文化資源を子どもたちにどう伝えるか
・原子力防災の避難計画や対策
・児童クラブの状況　・給食の状況は
・若者の定住の要件とは

質問　定住に不可欠な児童クラブが未設置の小学校区やその状況、民間の状況は

児童クラブがないということで他地域へ転出する人がいるようだ。児童クラブのない小学校区や状況、民間の状況と情報連携は。また児童クラブ指導員の処遇改善、それに指導員の研修にプレーパークを入れるというのはどうか。

回答　34校区中、未設置は４校区

児童クラブ未設置は34校区中４校区で、佐太、鹿島東、島根、大谷である。このうち佐太小はニーズ調査や説明会が実施され、教育委員会と準備委員会で協議中である。民間は12か所あり保育所による５人未満の小規模学童施設は４か所。今後利用者のために市のホームページに民間の情報も掲載していく。指導員処遇はパート保育士の処遇にあわせて対応する。プレーパーク精神の研修も考える。

長谷川修二（はせがわしゅうじ）　（公明クラブ）

・農林水産業の担い手の育成について
・松江市の和菓子のＰＲと全国菓子大博覧会の誘致について
・路線バスの拡充について
・通学路への街路灯と防犯カメラの設置・拡充について
・読書通帳の導入について

質問　松江市の和菓子を全国へもっとＰＲすべきではないか

松江市の観光文化の大事な要素の一つである和菓子を全国へもっとＰＲすべきではないかと思うがその対策について伺う。

回答　2018年の不昧公没後200年記念事業の時に全国へＰＲしていく

2018年の松平不昧公没後200年を迎える機会に、菓子業界や産学官と金融機関が連携を図りながら、様々な機会を捉えて、松江市のお茶と和菓子を全国にＰＲして参りたいと考えている。

畑尾　幸生（はたお こうせい）　（市民クラブ）

・教育問題（地方教育行政改革法案）
・文化財行政
・島根県立大学の４年制化
・観光行政
・市有財産（土地）の活用
・高齢者バス料金の割引

質問　高齢者バス半額割引、市郊外地域を対象に再実施を

高齢者バス半額割引は実績のみの評価でなく、交通弱者対策、公共交通政策の面から再検討すべき。病院通いの方などが利用されており、高齢者生きがい事業制度に変えるというのは、制度の趣旨からみて論理のすり替え。市郊外を対象に実施することを再考すべき。

回答　半額割引、利用者少なく取りやめ。地域限定実施は不公平。

高齢者の外出促進という考えで半額割引を行ったが、利用増につながらず取りやめた。高齢者の外出支援として高齢者生きがい事業を創設した。地域限定でのバス料金半額割引は公平性が無いため採用できない。

※会議録は松江市議会ホームページ（http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html）でご覧いただくことができます。

片寄（かたよせ）　直行（なおゆき）　（共産党議員団）

・原発問題と防災
・農業問題と農業委員会制度
・駅前地下駐車場の再活用問題

質問　駅前地下駐車場　再稼働するのか

駅前地下駐車場を休止とした背景の分析と松江市の基本スタンスを伺う。

回答　９月議会あたりで方向性を出したい

稼動後４～５年は、順調に利用収入が伸びていたが、平成18年頃より周辺の民間駐車場が増え、利用が分散した。料金収入が減少し、建設費にかかる公債費償還経費が相まって累積赤字が拡大した。機械設備等の老朽化もすすみ、稼働し続けるためには２億数千万円の修繕費が必要となるため、休止した。長期的な見通しが甘かったことを反省しなければならない。有効活用の可能性があれば、検討をすすめたい。再稼働案については、経費や駐車場の必要性、将来にわたる事業の継続性など総合的に検討し、９月議会あたりで方向性をしめしたい。

宅野（たくの）　賢治（けんじ）　（友愛クラブ）

・今後の新たな行政運営の取り組み
・高齢者が住み慣れた地域で活き活き暮らせる健康長寿社会の構築
・がん検診の受診率向上など健康予防の取り組み対策
・子ども・子育て支援新制度

質問　子宮頸がんワクチンの接種後の副反応問題による接種の現状は。

希望者に公費負担で実施している定期予防子宮頸がんワクチンの接種状況と接種後の軽度、重篤も含めて副反応の相談なり問い合わせ状況を伺う。

回答　接種後の不調や健康被害に関する相談や報告は入っていない。

平成24年度の延べ接種件数が4,499件あったのに対して、平成25年度６月に厚生労働省が積極的勧奨を控える方針が出されたことから、平成25年度421件、今年度は４月が５件、５月が６件という接種状況である。本市においては接種後の不調や健康被害に関する相談や報告は入っていない。ＷＨＯも我が国におけるこのような状況を問題視しており、各学会においては厚生労働省に対して積極的な接種勧奨の再開を要請しているところである。

芦原（あしはら）　康江（やすえ）　（無会派）

・原発事故避難計画について
・「再生可能エネルギー推進計画」について
・化学物質過敏症対策について
・学力テスト結果公表の意義を問う

質問　放射性物質拡散シミュレーションを

滋賀県などでは、重大事故が発生した際の放射性物質がどれくらいの線量で、どれくらいの時間がかかって、どこまで拡散するのか、シミュレーションを独自に行っている。松江市においての防災や避難計画の実効性を確認し、高めるためにシミュレーションは欠かせない。市でやるのは困難かと思うので、県に求めていただきたい。

回答　避難時間考察の為にも県や国に求める

ＳＰＥＥＤＩは、一定の条件を与えることによってどういう形で、どのくらいのスピードで拡散するのか出てくるので、これも活用しながら、避難するための時間をどういうふうに考えたらいいかということを考える上で、大変大事だと思う。これは、県・国にそういったシミュレーションを要望していきたい。

山本勝太郎（やまもとかつたろう）　（松政クラブ）

・過疎対策について
・国民健康保険の現状と課題について
・改正耐震改修促進法について

質問　要緊急安全確認大規模建築物の対応は

改正耐震改修促進法は、不特定多数が利用する病院、店舗、旅館等や避難弱者が利用する学校、老人ホーム等のうち大規模なものについて耐震診断の実施と結果公表が義務付けられたが、松江市の状況を伺う。

回答　調査結果を踏まえ、早急に検討したい

不特定多数の者が出入りする5,000平米以上のもの、ホテル、旅館が３件、物品販売店１件、自動車駐車施設１件の５件市内に確認している。大規模建築物の耐震結果の報告期限は平成27年12月31日までである。所有者負担軽減に向け、市は耐震診断について原則全額公費負担で実施できる支援制度を設け、改修を促進させていくのに、県と協議し支援対策を検討したい。

※会議録は松江市議会ホームページ（http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/eturan/gikai-12.html）でご覧いただくことができます。

橘（たちばな）　祥朗（よしあき）　（共産党議員団）

・「拠点連携型まちづくり」構想について
・支所体制の今後、旧町村の体制について
・再生可能エネルギー及び省エネについて、市は計画を立て具体的施策を
・**美保基地へのＣ－２、ＣＨ－47ＪＡ配備等について**

質問　危険な、大型輸送機・大型ヘリ配備

①美保基地配備予定で開発中の大型輸送機Ｃ－２は、貨物扉の破損など不具合続きで配備が遅れている。配備やむなしとした住民も「安全性も不確かな機種は配備するな」の声が強い。②陸上自衛隊の大型ヘリ配備は、美保基地の危険な機能を拡大するもので反対を。③危険と騒音の下で生活する地域住民の声しっかり伝えて。

回答　防衛省に、安全性は説明を求める。大型ヘリ配備は「事前協議」の対象に

①Ｃ－２配備に当たって、安全運航、地域住民の安全確保を要望、不具合については防衛省にきちっと説明を求める。②大型ヘリ「ＣＨ－47ＪＡ」の新たな配備は「事前協議」の対象、県と連携して対応。③防衛省と住民との定期的な意見交換の継続的開催や住民要望実現に努力する。

９月定例会日程

月	日	曜日	会議名
9	10	水	本会議（会期の決定･委員長報告･質疑･討論･採決･提案説明・決算特別委員会設置） 決算特別委員会（正副委員長互選）
	16	火	本会議（一般質問）
	17	水	本会議（一般質問）
	18	木	本会議（一般質問・議案質疑・委員会付託）
	19	金	決算特別委員会（総括質疑･議案質疑･分科会委託）
	22	月	総務委員会・決算特別委員会総務分科会 教育民生委員会・決算特別委員会教育民生分科会
	24	水	総務委員会・決算特別委員会総務分科会 教育民生委員会・決算特別委員会教育民生分科会 建設環境委員会現地視察
	25	木	経済委員会・決算特別委員会経済分科会 建設環境委員会・決算特別委員会建設環境分科会
	26	金	経済委員会・決算特別委員会経済分科会 建設環境委員会・決算特別委員会建設環境分科会
10	1	水	決算特別委員会（分科会長報告・質疑・採決）
	6	月	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決） 閉会

議会事務局 総務課TEL 55-5432

定例会は傍聴することができます

午前はおおむね10時から、午後はおおむね１時から開催します。
ぜひ、お出掛けください。

～守ろうルールとマナー・なくそう自転車事故～

特集　松江市自転車安全利用条例を制定

６月定例会において、松江市自転車安全利用条例を提案、全会一致で可決しました。条例は８月１日から施行されました。

熱心に研修を受ける研究会メンバー

条例制定に至るまでの経過

◎政策条例研究会の発足

平成24年６月に議員の政策立案、政策提言能力の向上を図ることを目的に、地域開発研究所の牧瀬稔氏を講師にお招きし、議員提案政策条例について研修会を行いました。この研修をきっかけに松江市議会としても行動をおこすべく、同年９月、議長の発案で政策条例研究会を発足。各会派から選出した11名のメンバーでスタートしました。

◎テーマの選定

メンバー全員でテーマを持ち寄り協議しました。市民の皆さんに一番身近なもの、関心が高く課題となっているもの、初めての取り組みなので、取っ付き易いもの、など意見が出され、最終的に自転車の安全な利用の促進に関することをテーマとしました。

松江警察署との意見交換

◎具体的な取り組み

具体的に進めるにあたり、２つの部会に分かれ調査研究作業を行いました。第１部会では、条例の必要性を示す定量的データを収集するための聞き取り調査、定性的データを確認するための現地調査のほか、観光地周辺を実際に自転車で走行し、通行環境のチェックを行いました。

市内の道路状況を体感

自転車利用状況を現地にて調査

第２部会では、他都市の条例を入念に調査し、特徴的な項目、必要な項目など拾いだし、本研究会の条例案文の参考資料を作成しました。そして、両部会の調査結果を基に条例の骨子案を作成、その後、関係機関や団体等から意見聴取、パブリックコメントもいただき骨子案に反映させ、条例の策定を行いました。

条例の趣旨・私たち市議会の思い

この条例をつくるにあたり、調査活動を行いましたが、携帯電話やヘッドホンをかけながらの運転、並列走行、信号無視など、ルールやマナーが守られていない状況が見受けられました。松江市は通勤や通学、買い物などで自転車がよく利用されており、全国の中でも高いほうです。一方で、自転車による事故も多く、交通事故全体に占める自転車事故の割合は島根県の平均を上回っています。このようなことから、自転車を安全に利用し、交通ルールやマナーを守る意識を高めることと、自転車事故を減らすことを目的に条例を策定しました。また、本条例を策定するにあたり関係機関・団体など多くの皆様にご協力をいただいております。

行政、市民の皆さん、自転車を利用する皆さん、販売業者の方々等の責務を定めていますが、市民の皆さん一人ひとりの安全意識を高めていくための条例であることをご理解いただき、各種取り組みに参加し、安心安全な自転車利用をお願いいたします。

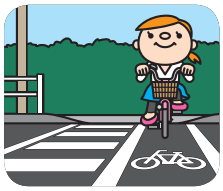
条例の主なポイント

❶道路交通法などのルールやマナーを守ろう。

❷事故防止の知識を身につけよう。

❸自転車保険に加入しよう。

❹おもてなしの心を持って、安全に通行できるようにしよう。



編集後記

議会は、市民の皆さんの様々な願いを市政に届け、市政をチェックする役割があります。

「議会だより」は、その議会の様子を皆さんにわかりやすくお知らせすることを使命としています。出来るだけ専門用語を使わず平易な表現を心がけ「次の編集はもっと良いものを…」と委員一同心をひとつにしています。

発行後に寄せられる皆さんからの感想やご意見は、貴重です。読まれる「議会だより」のため、今後も感想・意見を寄せてください。

議会広報等特別委員会委員　吉　儀　敬　子

皆さんのご意見をお寄せください

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等特別委員会（松江市議会事務局）
電　　話 (0852)55-5433
ファックス (0852)55-5533
議会事務局メールアドレスgiji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス
http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/top.html